

次期統合イノベーション戦略に向けての関係府省への検討指示事項

2019年3月7日

CSTI 政策討議（環境エネルギー）座長 橋本和仁

i) エネルギーマネジメントシステム

① 電力会社等民間企業からのデータ提供を促すため、関係法令の改正も含めた施策を検討し実施すること。【経産省】

② 実証事業の結果やデータを収集・共有する仕組みの構築を検討すること。【内閣府（科技）、総務省、経産省、国交省、環境省】

③ 新たなエネルギーマネジメントシステムの検討にあたり、ブロックチェーンの活用についても検討すること。【内閣府（科技）、経産省、環境省】

④ 蓄電システムとしての EV 等交通システムも加えたエネルギーマネジメントシステムを検討すること。【内閣府（科技）、文科省、経産省、国交省、環境省】

ii) 創エネルギー・蓄エネルギー

① 太陽光発電、風力発電について、海外展開するための、世界で太刀打ちできるような目標を設定すること。【文科省、経産省、国交省、環境省】

② 目標が設定できていない地熱発電、海洋エネルギー発電等の発電技術について目標設定に向けた具体的道筋を構築すること。【経産省、環境省】

iii) 水素

① イノベーションを加速するための、期限、コスト、量等について具体的かつ野心的な目標を設定すること。【文科省、経産省、国交省、環境省】

② アンモニアについて、世界をリードすべく CO₂ フリーアンモニアバリューチェーン構築に向けた道筋をスピード感を持って検討すること。【経産省】

iv) 目標達成のための研究開発評価の実施

- ① 府省内及び所管している国立研究開発法人に対して、実装につながる優良事例の横展開を図ること。

【内閣府（科技）、総務省、文科省、農水省、経産省、国交省、環境省】

- ② 優良事例等を踏まえた各府省・各国立研究開発法人に合った追跡評価方法について検討し実施すること。

【内閣府（科技）、総務省、文科省、農水省、経産省、国交省、環境省】

v) イノベーション視点のエネルギー・気候変動外交の実施

- ① 世界から再エネ等による CO₂ フリーで低コストなエネルギーを持ってくる方策を検討すること。

【外務省、経産省、環境省】

- ② 個々の技術のみならず、エネルギーマネジメントシステムとしてパッケージ化した技術の海外展開についても検討すること。

【外務省、経産省、環境省】

vi) 計画・戦略への反映（パリ協定に基づく長期戦略）

- ① 長期戦略において、野心的な目標を達成するためのイノベーションの道筋を明確にすること。

【外務省・経産省・環境省】

- ② エネルギー・環境技術のポテンシャル・実用化検討会において、CCUS について、コスト等も踏まえ、どのように利用していくかストーリーを考えること。

【文科省・経産省】

vii) その他

- ① グローバルストックテイク等パリ協定を踏まえた気候変動対策に貢献する、人為起源の温室効果ガスについて精度よく検証する手法の開発及びその推進体制の整備について検討すること。

【文科省、環境省】

【 】：対象府省（エネ庁については経産省に含める）

以上